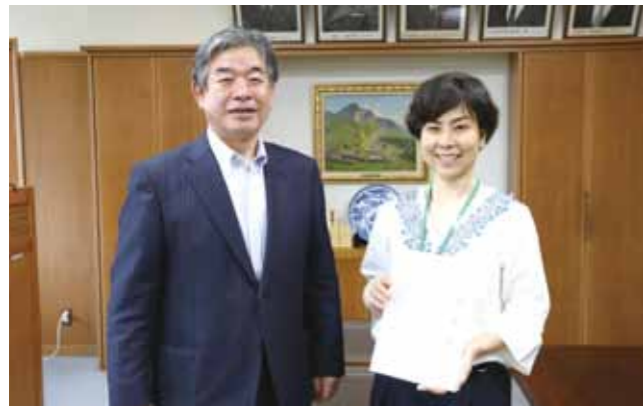


6/14 新たな地域おこしのために



(左から) 日野町長、小笠原有佳子さん。小笠原さんは南山田地区を中心に活動していきます

地域おこし協力隊の辞令交付が九重町役場で行われ、小笠原有佳さんが任命されました。小笠原さんは「地域の方々とコミュニケーションをとりながらニーズをお聞きして、高齢者の方等をサポートしていくために、健康を目的としたプログラムを提供していきたいです」と今後の活動について述べられました。

6/17 「大分セブンの森」協定式



(左から) 飯田高原野焼実行委員会 高橋裕二郎会長、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の高山良彦南九州地区理事、広瀬勝貞知事、日野町長

「大分セブンの森」の整備・保全に関する協定締結式が九重ふるさと自然学校（飯田地区）で行われ、飯田高原野焼実行委員会、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、大分県、九重町が協定を締結しました。今後は4者が協力し、飯田高原一帯の草原や森林、希少な生きものの保全活動が始まります。

美しい自然を次世代へ。「セブンの森」づくりとは？

セブンの森とは、日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、セブン-イレブン記念財団が行う産官学民が連携した地域一体型の森づくり活動です。

2006年から開始し、現在全国16カ所において、山だけでなく河畔林や海などにも活動の場を広げています。「森・里・川・海」のつながりを大切にし、地域の活性化につなげることで、新しい価値を生み出す森づくりを目指しています。

今回、大分セブンの森では、全国で初めて草原の保全活動を九重町で実施することになりました。

これまでも飯田高原では、飯田高原野焼実行委員会により野焼きが行われていましたが、今後はさらなる連携により、草原の保全を中心とした支援活動が始まります。

▶九重ケーブルテレビで九重ふるさと自然学校の活動を紹介していますので、ぜひご覧ください。



写真説明 (左から)

- ・タデ原湿原の野焼きでの火入れ風景
- ・草原の春は野焼きから始まり、一面が真っ黒な大地になります
- ・野焼きの際、火を消すために使用する「はたき棒」を手にする広瀬知事



6/23 父の日に、彩り豊かな花束を



(左から) 部会長 高石勝明さん、日野町長、副部会長 加藤展秋さん、会計 渡邊伸幸さん

父の日に花を贈る習慣のPRとして、父の日の20日にあわせて、JAおおいたの飯田花卉部会から日野町長にカスミソウとバラの花束が贈られました。

高石部会長は「皆さんに花で笑顔になっていただくために、これからも花をつくって癒しを届けていきたいです」と話されました。

6/30 九重町の魅力を3人でPR



(左から) 時松愛里さん、霜村香帆さん、佐藤彩花さん、白地澪莉さん

九重キャンペーンレディ発表会が、九重町役場で行われました。新たに任命されたのは、佐藤彩花さんと白地澪莉さんのお二人です。

これから一年間、昨年着任した霜村香帆さんとともに、8月に開催される山の日全国大会などの観光情報をSNSなど、さまざまな形で発信していただきます。

2年間ありがとうございました！



あいり 時松愛里さん

町民の皆様、2年間大変お世話になりました。

コロナ禍の中でしたが様々な活動の機会も頂き、貴重な経験となりました。

活動の中で生まれ育った九重町をさらに知ることができたことや、町民の皆様のあたたかさに触れることができました。この経験は一生の財産です。これからも変わらずふる里を愛していきます。

本当にありがとうございました。

これから1年間、私たち3人が活動していきます！



しもむら かほ 霜村香帆さん

昨年はイベントなどが中止になったりと外に向けた発信が難しい状況でした。しかし、コロナ禍で各施設がお客様に合わせたニーズで対応し、手を取り協力し合う姿に感銘を受け、私もSNSなどできることで最善を尽くそうと努めました。

今年こそはもっと沢山の方と九重の魅力を発信していけたらと思います。残り一年、引き続きよろしくお願い致します。

Instagramでも情報発信しています。皆さんフォローしてくださいね



あやか 佐藤彩花さん

九重キャンペーンレディの佐藤彩花と申します。

生まれも育ちも九重町である父親の影響で、私も幼い頃からよく九重町へ訪れては魅力に触れてきました。いつか九重町に恩返しをしたい！と思って応募させていただきました。

もっともっと九重町の知られざる魅力を発掘し、九重町の広告塔として全力で発信していきます。



登録はこちらから
(アカウント名: 大分県九重町観光情報 kokonoetourism)



みおり 白地澪莉さん

九重キャンペーンレディの白地澪莉と申します。

九重町で生まれ育ち恩師から、キャンペーンレディに応募してみたら？と声をかけていただき、私自身も自分の住む町の魅力を発信するお手伝いをしたいと思い今回応募させていただきました。

緊張と不安がありますが、楽しみながら九重町をPRし、盛り上げていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。